

積水化学工業株式会社への企業訪問について

訪問概要

【訪問企業】 積水化学工業株式会社
 【訪問日】 2018年9月13日
 【主な出席者】
 <積水化学工業株式会社> 竹友常務執行役員
 <大阪労働局> 井上労働局長



くるみん
認定
(2008年)



左：積水化学工業株式会社 竹友常務執行役員
 右：大阪労働局 井上局長

意見交換

働き方改革に向けた主な取組(抜粋)

項目	主な内容
生産性向上に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 労働時間を削減する「働き方改革投資」を全社で支援 <ul style="list-style-type: none"> - 設計部門の負荷を軽減する次世代CADシステムの導入 - 製造部門の省時間化を実現する設備導入 ◆ 有休取得促進に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> - 労働基準法改正にも対応した計画年休の試行 - 半日単位の年休上限の撤廃
ダイバーシティ推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ グループ全体でダイバーシティ推進の各種施策を実施 <ul style="list-style-type: none"> みんなの職場づくりプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象は国内グループの150組織以上。 ・ 各組織によって課題が異なることから、組織単位で推進責任者と担当者を設置し、組織の改善計画活動を実施。(人事メンバーや役員クラスが各組織についてフォローを行う。) ダイバーシティマネジメント実践研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象は国内グループ会社の全ライン部課長。 ・ リーダーのあり方やコミュニケーション等、マネジメントスタイルを学ぶ。 年代別キャリアプラン研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象は国内グループ会社全体に拡大。 ・ 年代別キャリアプラン研修を実施(若手、30、40、50、57歳)。

竹友常務執行役員より

- ✓ 積水化学グループ全体で働き方改革を進めるべく、グループ会社の働き方改革投資を本社で支援する等、グループ全体で、社長や経営層が本気で取り組んでいる。
- ✓ テレワークのシステム面などの労働環境整備に投資しており、今後も障害者の働きやすい環境整備等、更なる整備に努めていく。
- ✓ 各組織によって改善すべき点が異なるため、ダイバーシティ推進に関しては左記記載の取組等により、社員が一体となって改革を進めていく。

井上労働局長より

- ✓ 働き方改革とダイバーシティ推進をグループ全体で経営戦略として掲げ真摯に取り組んでおられる。
- ✓ ダイバーシティ経営として、女性活躍や障害者等への個別のアプローチだけではなく、組織の風土づくりのための様々な施策を実施されている点は大変参考になる。
- ✓ 労働時間や有休取得についてもすでに取り組んでおられるところであるが、引き続き、グループ全体で一丸となって改革を推進いただくことを期待している。